



「グローバルヘルスと日本～ パンデミックの脅威に世界と 日本はどう立ち向かったか」

瀧澤 郁雄氏



独立行政法人国際協力機構（JICA）
緒方貞子平和開発研究所
主席研究員。

ハーバード大学公衆衛生大学院で人口・国際保健学の修士号を取得。1992年に国際協力事業団（当時）に入団し、30年以上にわたり、アジア、アフリカ、中東、南北アメリカなどさまざまな地域で、JICAの保健および保健関連プロジェクト・プログラムに携わり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、パンデミックの予防、準備、対応（PPR）、技術・社会的イノベーションの適用など、幅広い開発課題に取り組んできた。新型コロナウイルス感染症パンデミック時には、JICAの組織全体でパンデミックへの対応を促進するために設立された新型コロナウイルス感染症対策協力推進室の室長を務めた。現在は、グローバルヘルスに焦点を当て、人間開発クラスター（健康と教育）におけるJICA研究所の研究プロジェクトを統括している。

📅 2025年 11月20日 木

🕒 15:00 ～ 16:30

📍 国際交流留学生プラザ3階
セミナー室

国際協力、平和構築、SDGs（持続可能な開発目標）に関するお茶の水女子大学の教育、研究、国際貢献を促進するグローバル協力センターでは、このたび「国際協力の現場を知る」連続セミナーを開催します。開発途上国が抱える現状や課題、解決に向けて、国際協力の現場で活躍されておられる専門家をお招きし、JICAによる開発途上国での具体的取り組みについてお話しいただきます。国際協力の現場について詳しく知り、国際協力や進路について考える貴重な機会です。関心のある方は、是非ご参加ください。

【お問合せ・申込先】お茶の水女子大学グローバル協力センター info-cwed@cc.ocha.ac.jp

【詳細 URL】<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20251120.html>

※本セミナーはグローバル文化学環「国際協力特論」の公開講座を兼ねるため、履修生は申込不要です。



お申込みはこちらから